

■グループインタビュー

<目的>

行政や支援者では気づきにくい、当事者だから感じる社会的養護の課題や改善点を抽出

<方法>

- ・当事者である子どもの属性を整理し、6名程度のグループを6つ設定
内訳) 児童養護施設(大舎・小舎)、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、里親
⇒中高生年齢で、概ね男女が同数になるようグループを設定
- ・対象者に対し、インタビュアー1名が調査項目に関する質問をし、対象者に自由に発言を求める(2～3h程度/回)
- ・グループインタビューの実施は1回

■アンケート調査

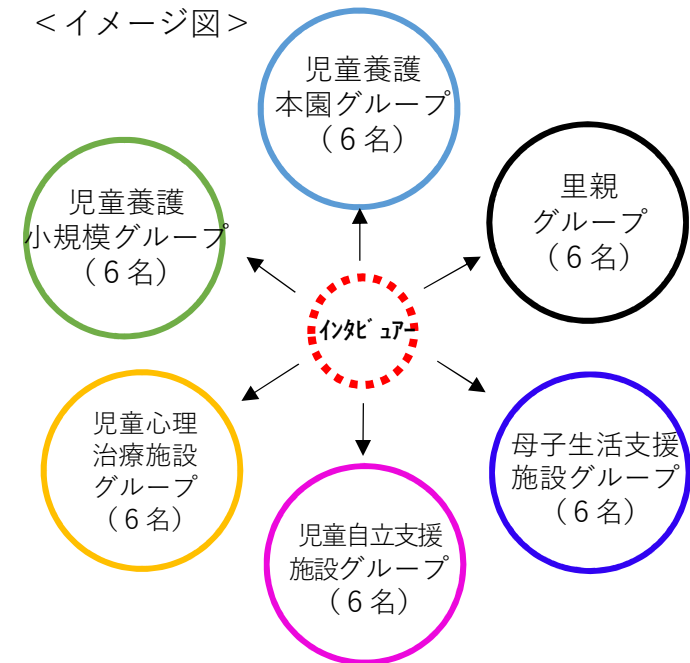
<目的>

意見の表明漏れを防ぐとともに、個人の意見を掘り下げる

<方法>

- ・グループインタビュー後、対象者全員に対しアンケートを実施
- ・アンケート用紙には、属性及び質問項目を記載し、グループインタビュー時で発言できなかった、改めて述べておきたい内容を回答できるようにする

<イメージ図>



【補足】グループインタビューの実施について（属性抽出）

■対象者の整理

	現時点	過去						
		乳児院	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	母子生活支援施設	里親(養育)	里親(養子縁組)
乳児院	—	—	—	—	—	—	—	—
児童養護施設	○	○	—	○	○	○	—	—
児童心理治療施設	○	○	○	—	○	○	—	—
児童自立支援施設	○	—	○	○	○	○	—	—
母子生活支援施設	○	○	—	—	—	—	—	—
里親(養育)	○	○	○	—	—	○	—	—
里親(養子縁組)	○	○	○	—	—	○	—	—

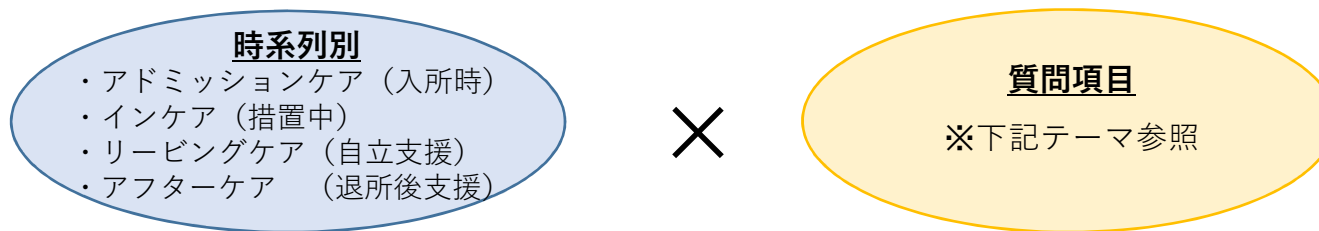
※基本は現時点で入所している児童（中学生～高校生）とするが、退所済みの児童も対象とする ※退所後は3年以内が目安
 ※サンプル数が非常に少ないと思われるレアケースは対象外とする



- ・上記票の破線に該当する施設をメインに設定（可能であれば該当施設退所者も参加）
- ・対象児童が所属する各施設に対し、児童の参加意向の確認等調整のうえ、対象者を決定

グループインタビューの実施について

■インタビューの内容について



■基本質問項目について

時 系 列	基本質問項目	具体的イメージ
	施設内の人間関係について	職員、子ども同士などとの関係
	施設外の人間関係について	教員、同級生などとの関係
	施設内の環境について	・衣食住について ・スマートフォンやパソコン等の私物の所持について など
	学校生活について	・学校は楽しいか ・友人と遊ぶことができているか ・学校で困ったことがあれば施設が助けてくれるか ・バイトや部活について ・進学や就職の悩み など
	家族との関係について	・実親や兄弟などの家族とのかかわりについて ・面会や交流の有無 など
	社会とのかかわりについて	・地域と交流があるか など
	退所後について	・退所後も施設職員に会いたいと思うか ・退所後の不安 など

※里親委託児童及び児童自立支援施設入所児童に対しては、質問項目は要調整